大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

CARGO

アイデス カーゴ三輪車

取扱説明書

目次

①定義とシンボルマークについて ・・・・・・P1
②安全上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
③梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
④各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方法
●シャフト付き後輪の取り付け・・・・・・・・・P3
●後輪の取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
●ハンドルの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・P3
●サドルパイプの取り付け ・・・・・・・・・・・P4
●ステップ取り付け部品の取り付け・・・・・・P4
●サドルの固定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
●ステップの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・P4
●背もたれ、安心ガードの取り付け ・・・・・・P5
●カゴの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
●コントロールバーの組み立て ・・・・・・・・P5
●コントロールバーの取り付け ・・・・・・・・P5
●フックの取り付け・・・・・・・・・・・・・・・・P6
●前バスケットの取り付け ・・・・・・・・・・・P6
●バーパッドの取り付け・・・・・・・・・・・・・P6
⑥コントロールバーの操作方法 ・・・・・・・・P6
⑦安心ガードの開閉方法・・・・・・・・・・・・・P7
⑧ステップの高さ調節方法 ・・・・・・・・・・・P7
⑨カゴの開閉方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
⑩コントロールバーの取り外し方法・・・・・P8
⑪ステップの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・P8
⑫安心ガードの取り外し方法 ・・・・・・・・・P9
⑬カゴの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・・・P9
⑭ロック＆フリーの取り扱い ・・・・・・・・・P9
⑮ブレーキの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・P10
⑯カゴ布部分の取り外し方法 ・・・・・・・・・P10
品質保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」「注意」として記載されています。

⚠警告 **身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 **財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【カーゴ三輪車をご使用のお客様へお願い】

カーゴ三輪車は公園等、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかる等思わぬ怪我の原因となることもありますので使用しないでください。店舗等におけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。

●ＳＧマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はＳＧ基準により安定性､走行性､耐荷重､耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので､安心してお乗りください。
●対象年齢：１.５歳～３歳　　適正身長：８０cm～１００cm

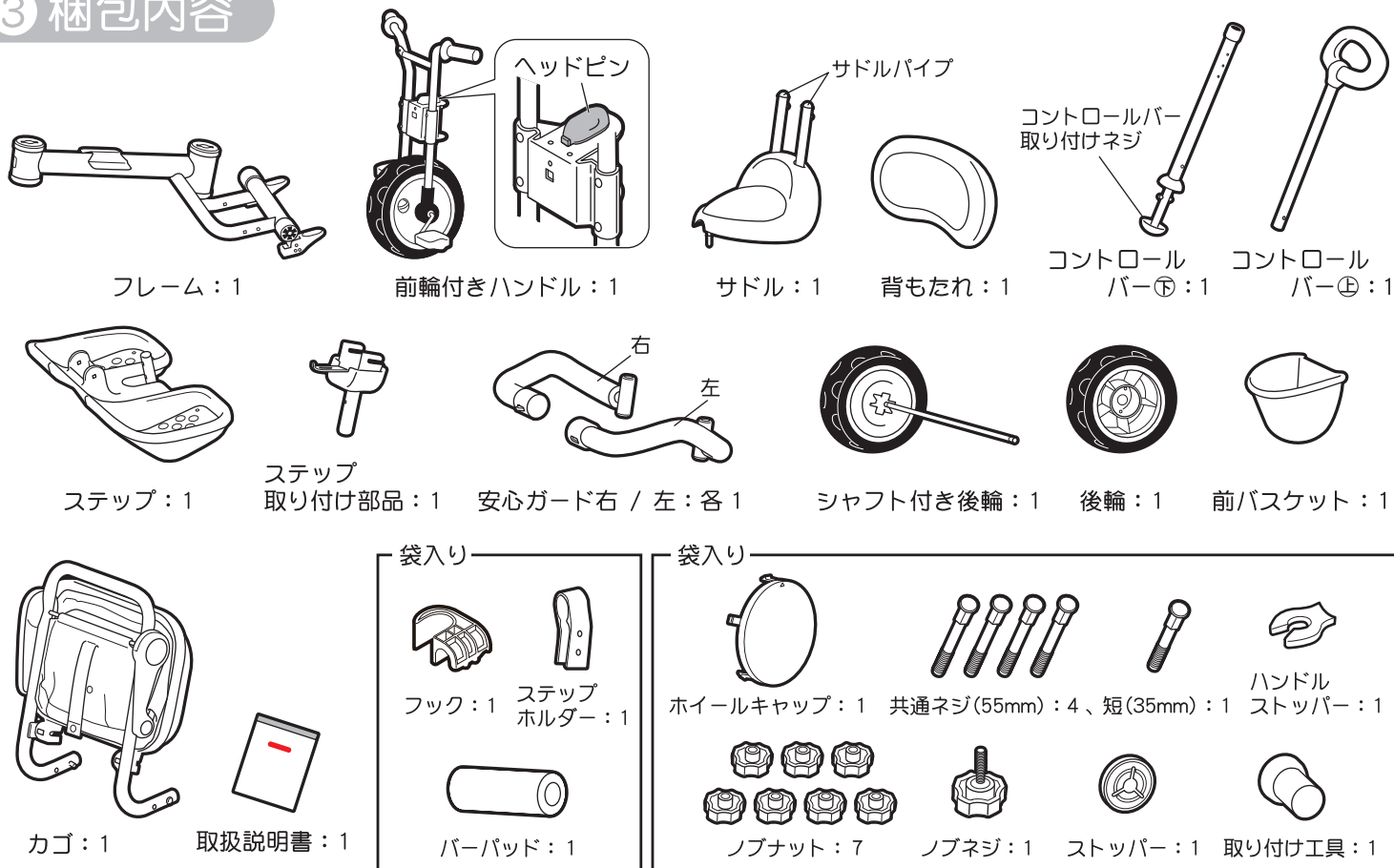
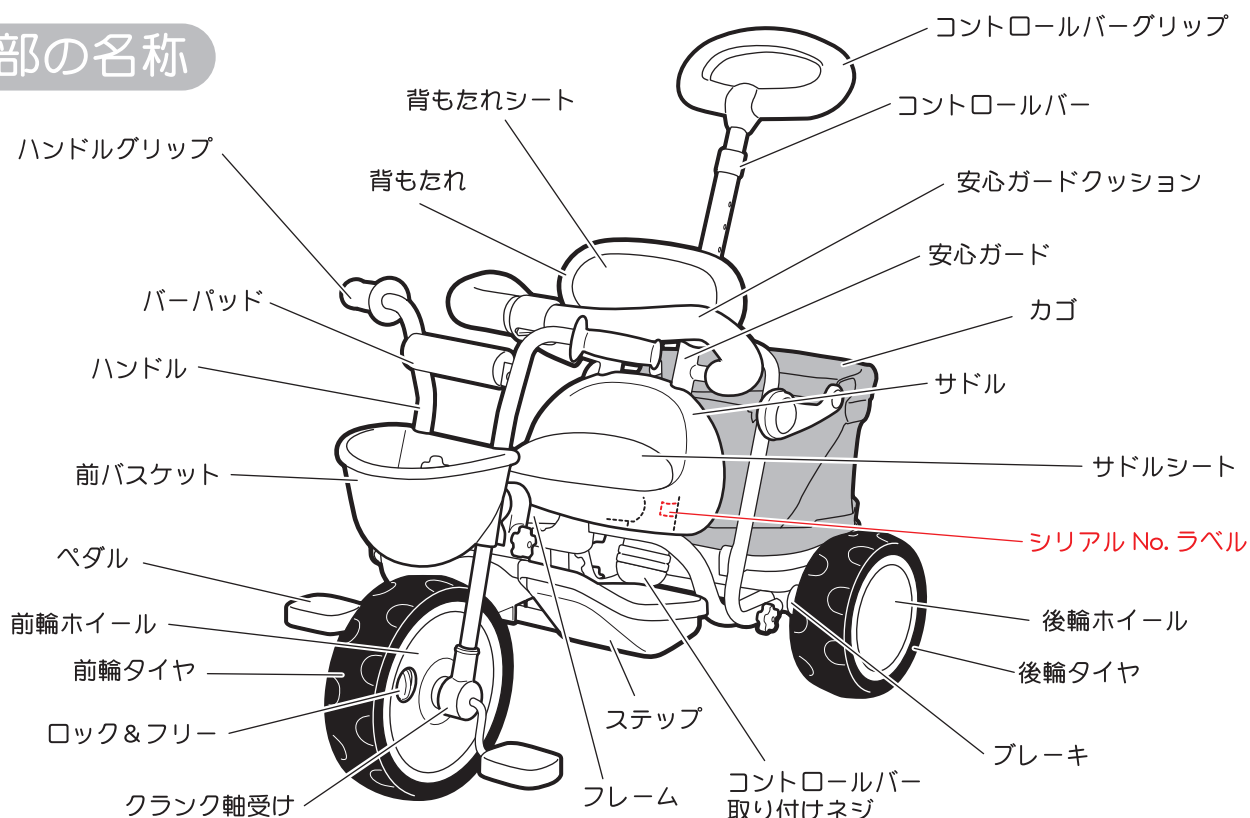
⚠警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者の下で遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●坂道での使用は、避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●２人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり､急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し､ロック＆フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので､物をかけないでください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●カゴの開閉は保護者が行ってください。手を挟む恐れがあります。十分気を付けて開閉を行ってください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量８kg以下)。破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。

注 意

●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所､高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた｢警告｣､｢注意｣が表記してありますので､そちらもお読みください。

③ 梱包内容

フレーム：1

前輪付きハンドル：1

サドル：1

背もたれ：1

コントロールバー㊦：1　コントロールバー㊤：1

ステップ：1

ステップ取り付け部品：1

安心ガード右 / 左：各1

シャフト付き後輪：1

後輪：1

前バスケット：1

カゴ：1

取扱説明書：1

袋入り

フック：1

ステップホルダー：1

バーパッド：1

袋入り

ホイールキャップ：1

共通ネジ(55mm)：4、短(35mm)：1

ハンドルストッパー：1

ノブナット：7

ノブネジ：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

④ 各部の名称

【材質】

フレーム：スチール
ハンドル：スチール
コントロールバー：スチール
安心ガード：スチール
コントロールバーグリップ：ポリプロピレン(PP)
前バスケット：ポリプロピレン(PP)
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン(PP)
サドル：ポリプロピレン(PP)
背もたれ：ポリプロピレン(PP)
ステップ：ポリプロピレン(PP)
サドルシート：塩化ビニール(PVC)
背もたれシート：塩化ビニール(PVC)
ハンドルグリップ：塩化ビニール(PVC)
前 / 後輪タイヤ：エチレン酢酸ビニル共重合体(EVA)
安心ガードクッション：ポリウレタン(PU)
カゴ：塩化ビニール(PVC) / ポリエステル

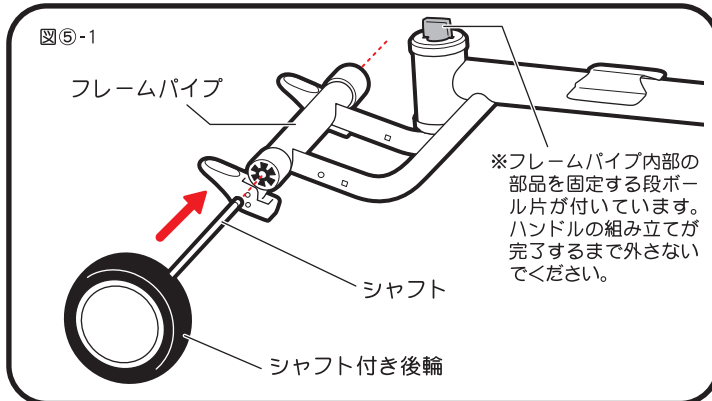
●ネジの種類の確認

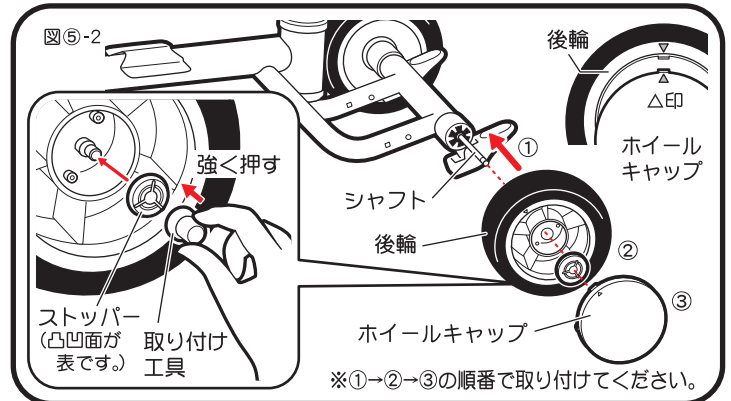
・ネジは 2 種類あります。右図は原寸のイラストと使用箇所の記載です。確認のためにご使用ください。

共通ネジ(55mm):4本
- ・P4【サドルパイプの取り付け】
- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P5【カゴの取り付け】
- ・P7【ステップの高さ調節方法】
- ・P8【ステップの取り外し方法】
- ・P9【カゴの取り外し方法】

共通ネジ短(35mm):1本
- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P7【ステップの高さ調節方法】
- ・P8【ステップの取り外し方法】

5 組み立て方法

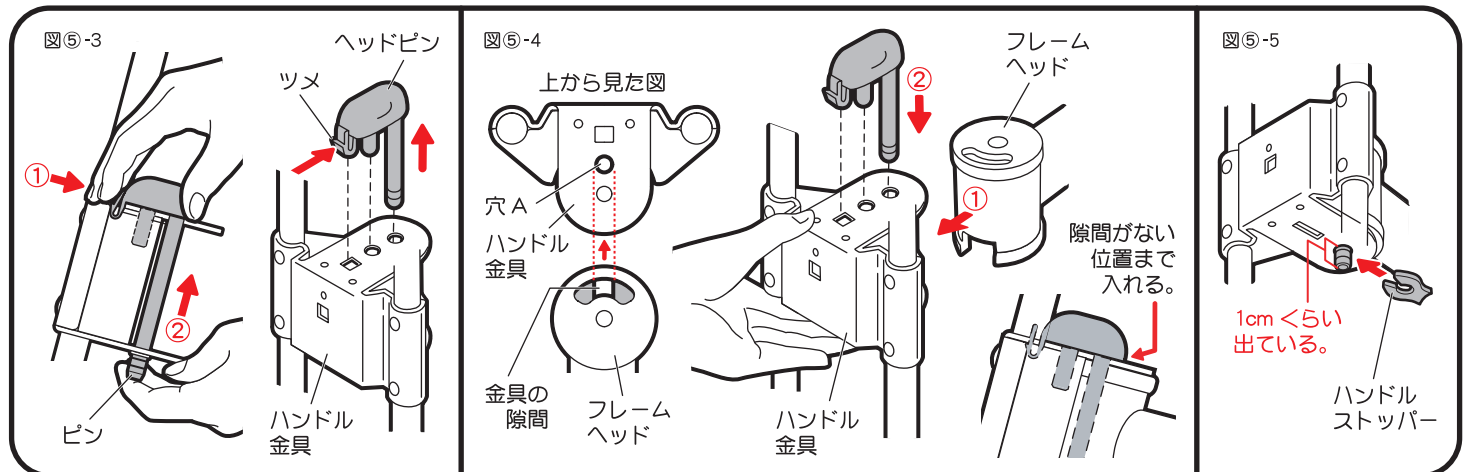
●シャフト付き後輪の取り付け

・シャフトをフレームパイプに通します。

●後輪の取り付け

①シャフトに後輪を通します。
②取り付け工具を使用してストッパーで固定します。
③後輪取り付け確認後、ホイールキャップを取り付けます(取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中には入れないでください)。後輪の△印とホイールキャップの△印を図のように合わせてはめ込んでください。

注 意

●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●ハンドルの取り付け

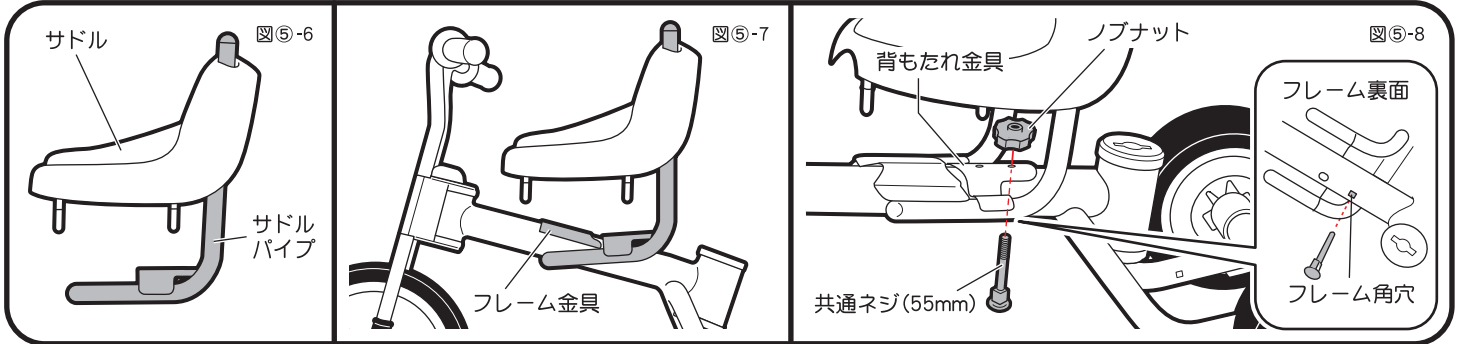
図⑤-5
1cm くらい出ている。
ハンドルストッパー

・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴Aが合うように入れてください。金具の隙間と穴Aがズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が 1 cm くらい出ていることを確認してください。
・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

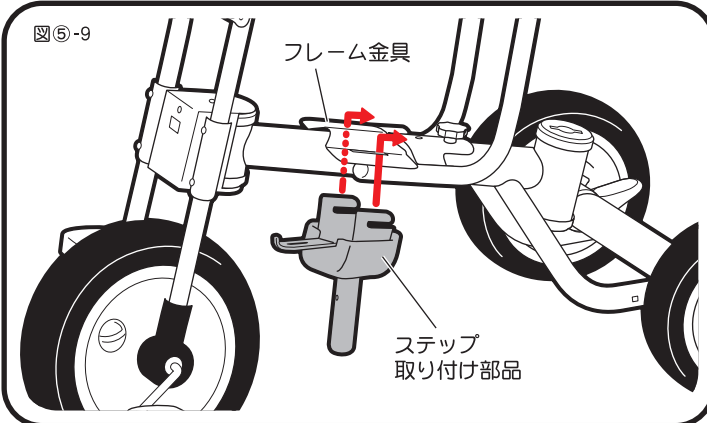
注 意

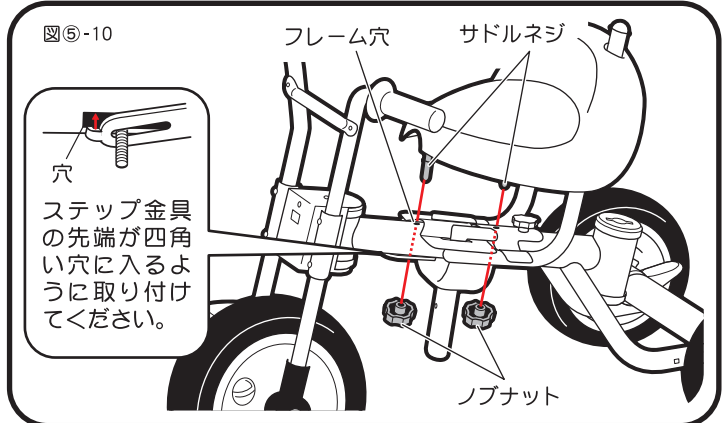
●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを差し込まない状態で無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

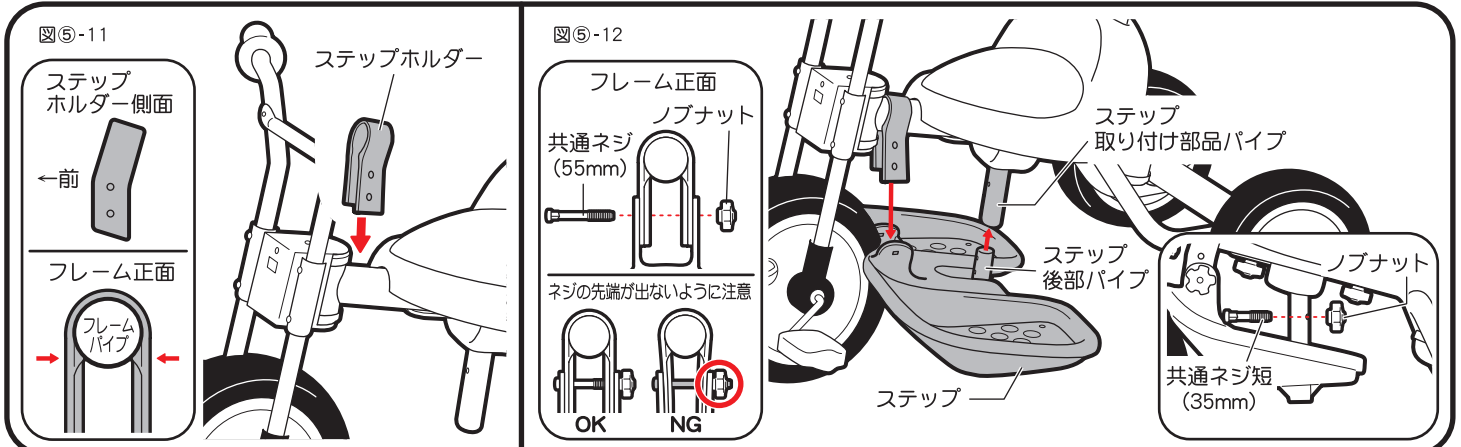
●サドルパイプの取り付け

・サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにしてください。

・サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

・フレーム角穴から共通ネジ（55mm）を入れ、ネジ先端が背もたれ金具の穴から出たらノブナットで強く締めつけてください。

●ステップ取り付け部品の取り付け

・ステップ取り付け部品の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

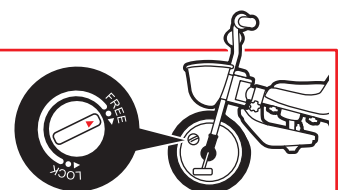
●サドルの固定

・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

●ステップの取り付け

・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます（前後注意）。

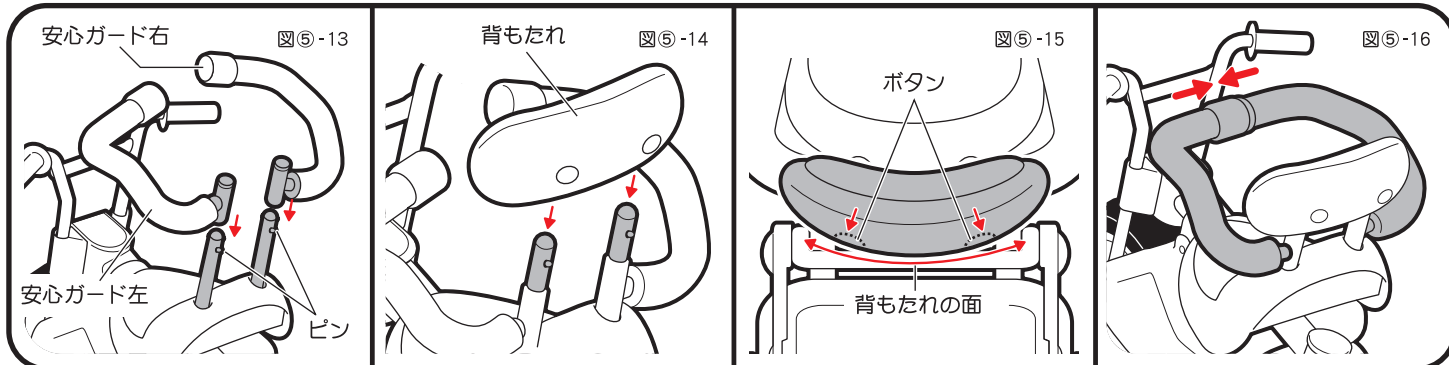
・ステップホルダーをステップの前部へ、ステップ後部パイプをステップ取り付け部品パイプへ同時に差し込みます。
・ステップ前部を共通ネジ（55mm）とノブナットで締め付けます。ネジの先端がノブナットの表面から出ないように注意してください。
・ステップ取り付け部品パイプを共通ネジ短（35mm）とノブナットで締め付けて固定します。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
※ロック＆フリー機能については９ページ【⑭ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

FREE
LOCK

注 意

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●背もたれ、安心ガードの取り付け

・サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを差し込んでください。

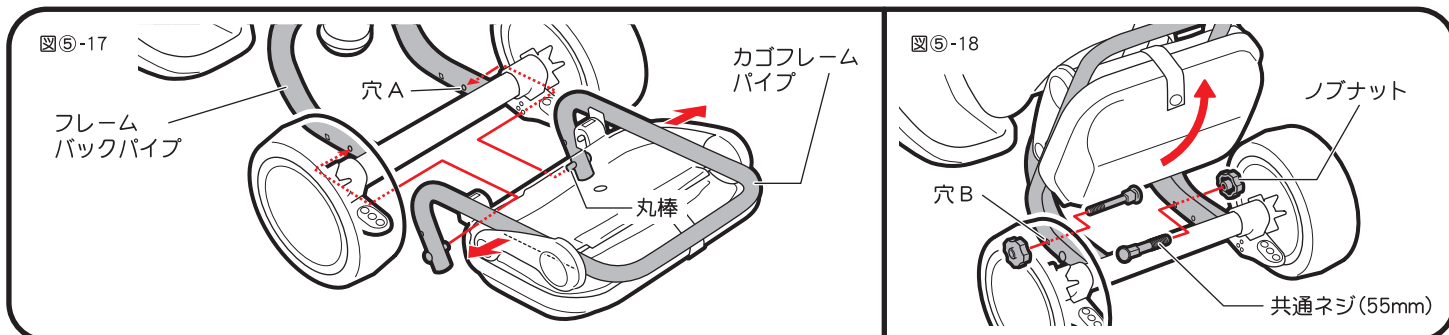
・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。

・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認した後、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。

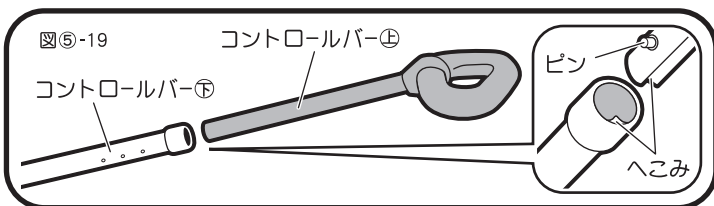
・安心ガードを閉じてください（安心ガードの閉じ方の詳細は７ページの図⑦-1を参照）。

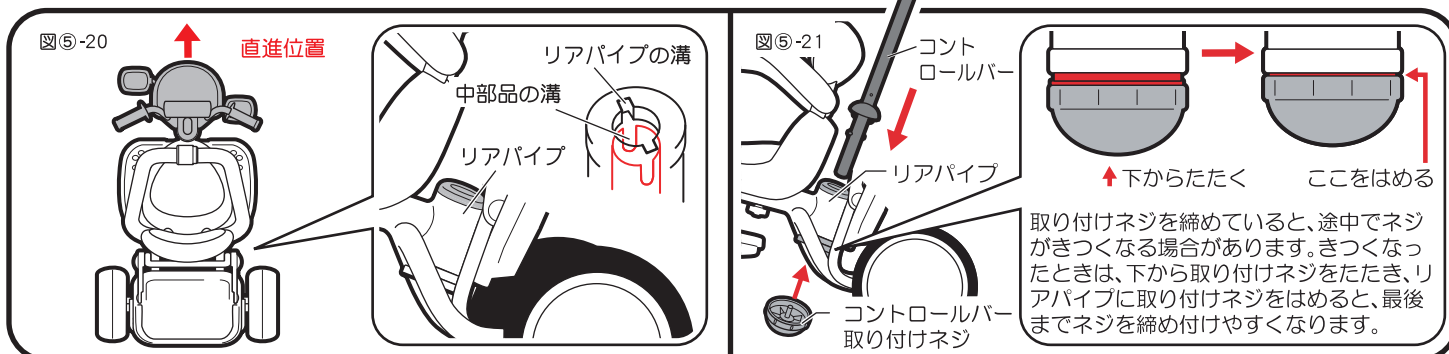
注 意

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。

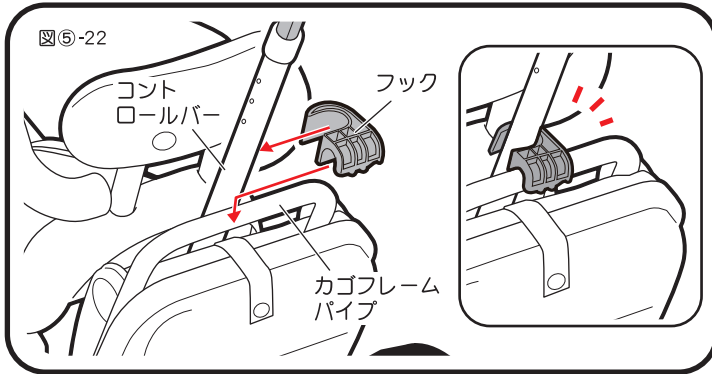
●カゴの取り付け

・カゴフレームパイプ先端の左右の丸棒をフレームバックパイプ下側の穴Ａに、矢印の方向へ広げながら差し込みます。

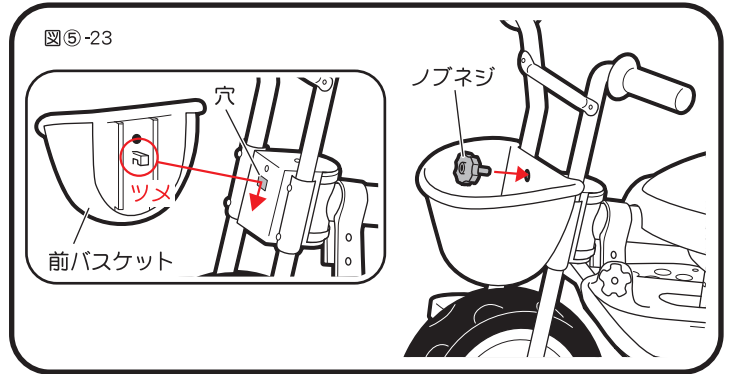
・カゴフレームパイプを前方へ起こして、共通ネジ（55mm）２本を左右の穴Ｂに通し、ノブナット２個で固定します。

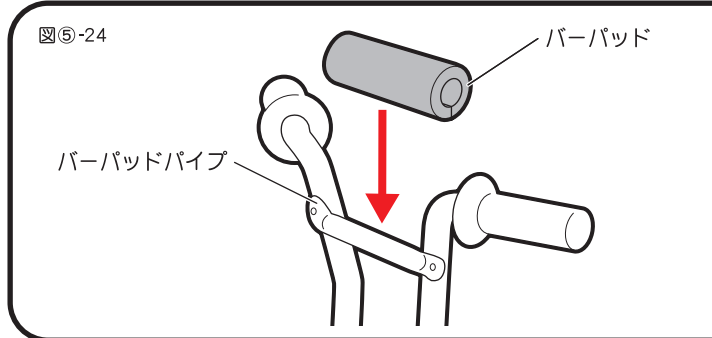
●コントロールバーの組み立て

・コントロールバー㊤のピンを押しながら、コントロールバー㊦に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

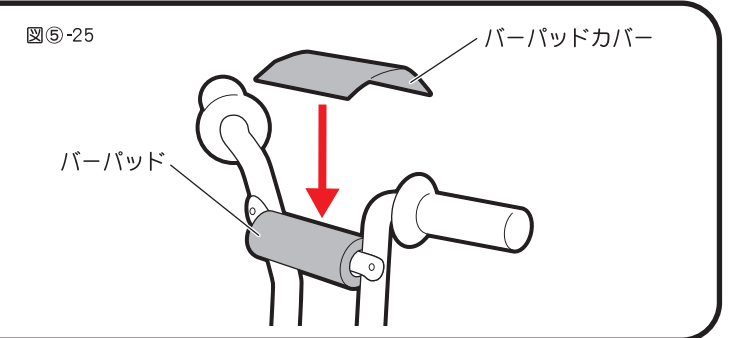
●コントロールバーの取り付け

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定してください。コントロールバー取り付けネジがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません）。

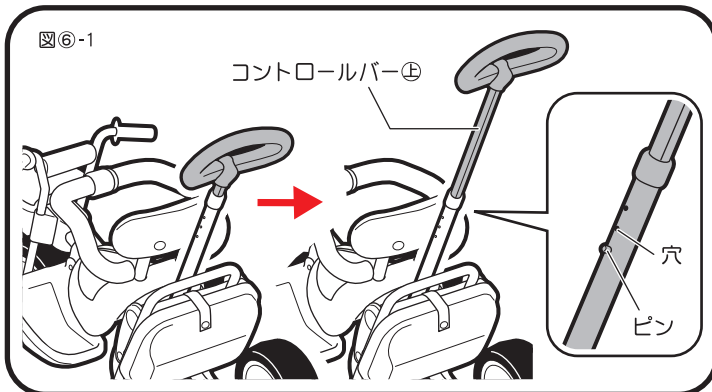
●フックの取り付け

・コントロールバーとカゴフレームパイプにフックを取り付けてください。

●前バスケットの取り付け

・前バスケット裏のツメをハンドル金具の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

●バーパッドの取り付け

・バーパッドをバーパッドパイプに取り付けます。

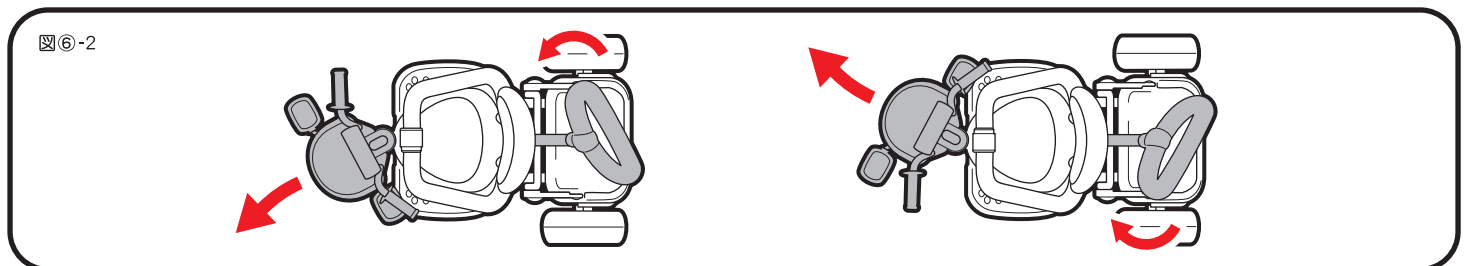
図⑤-25
バーパッドカバー
バーパッド

・バーパッドの上からバーパッドカバーを取り付けます。

⑥ コントロールバーの操作方法

●コントロールバーの高さ調整方法

・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー㊤を上下させ、お好みの高さに調節してください。
・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。

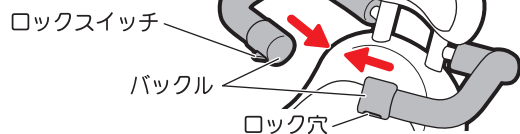
注意
●ピンが穴から飛び出ていることを確認の上、使用してください。ピンが出ていないと、使用中にコントロールバー㊤が抜けてしまう可能性があります。

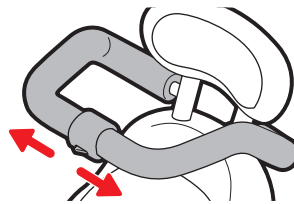
●コントロールバーで曲がるときの方法

図⑥-2

・左に曲がる場合はコントロールバーを左に切ります。右に曲がる場合はコントロールバーを右に切ります。

注意
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態(9 ページ図⑭-2 ロック＆フリー参照)にしてください。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

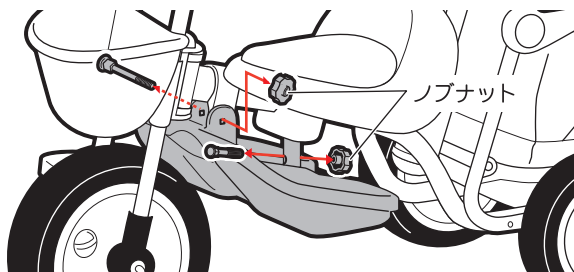
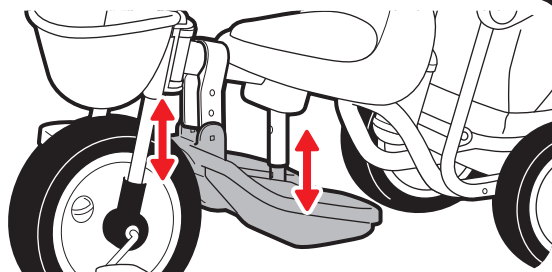
⑦安心ガードの開閉方法

●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

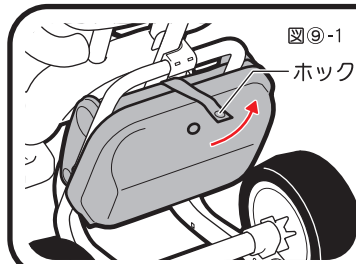
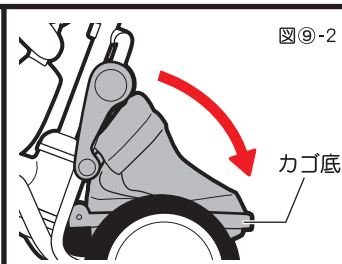
●安心ガードを開ける

・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

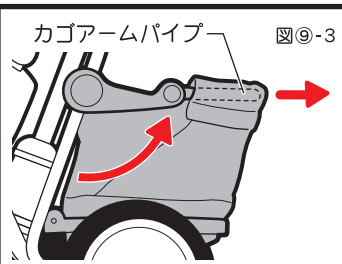
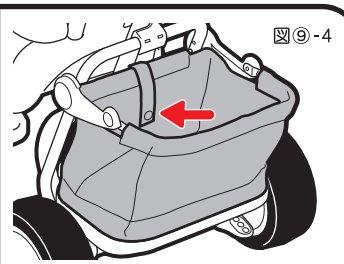
注 意

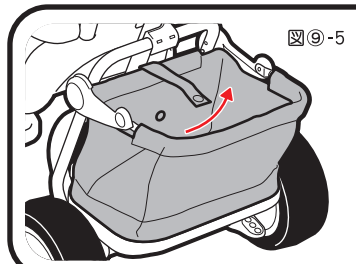
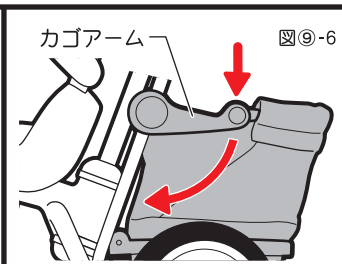
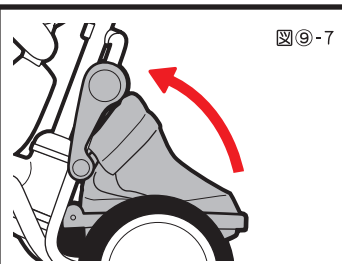
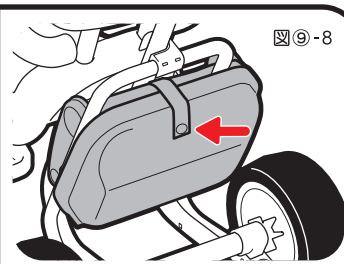
●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。
●安心ガードを使用する際はバックルで手や指を挟まないように注意してください。

⑧ステップの高さ調節方法

・ステップを固定している2カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。

・ステップを上下させステップ前部、ステップ取り付け部品パイプのそれぞれの穴を合わせネジを差し込みノブナットで固定してください（ステップの取り付けの詳細は4ページの図⑤-12を参照）。

⑨カゴの開閉方法

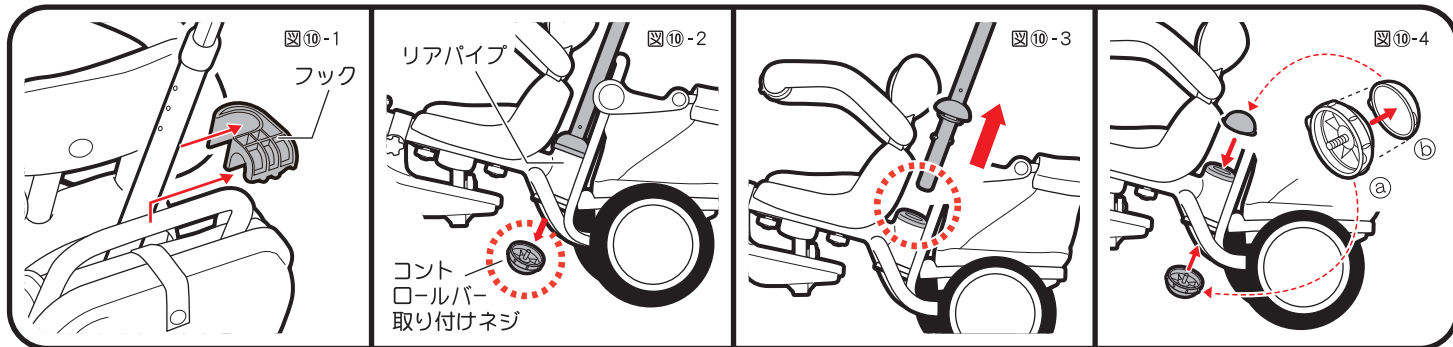
●カゴの開き方

・ホックを外します。

・カゴ底を下げます。

・カゴアームパイプを矢印の方へ引っぱり出します。

・ベルトのホックをとめます。

●カゴの閉じ方

・ベルトのホックを外します。

・矢印の方向へカゴアームを下げます。

・カゴ底を矢印の方向へ上げます。

・ベルトのホックをとめます。

注 意

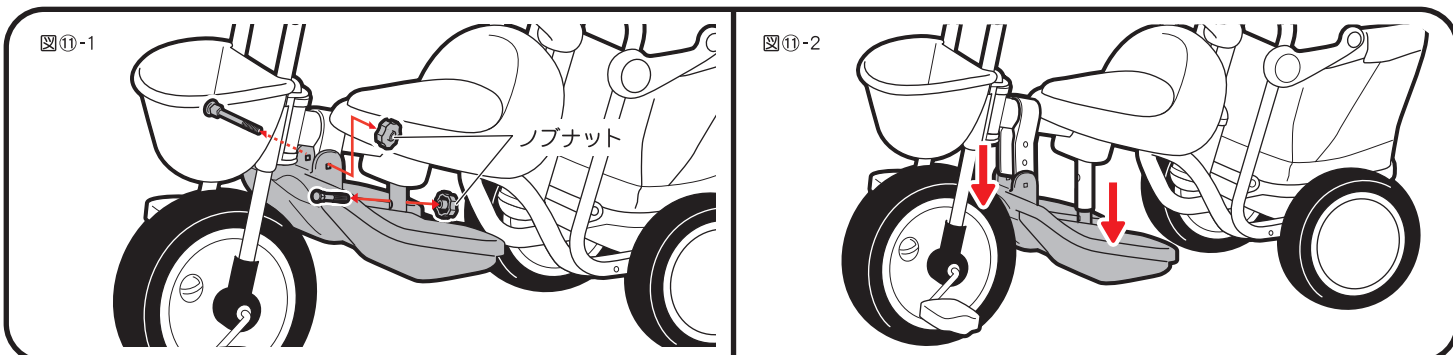
●カゴの開閉は保護者が行ってください。指や手を挟む恐れがあります。十分気を付けて開閉を行ってください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください(制限重量8kg以下)。破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。

⑩ コントロールバーの取り外し方法

・フックを取り外してください。

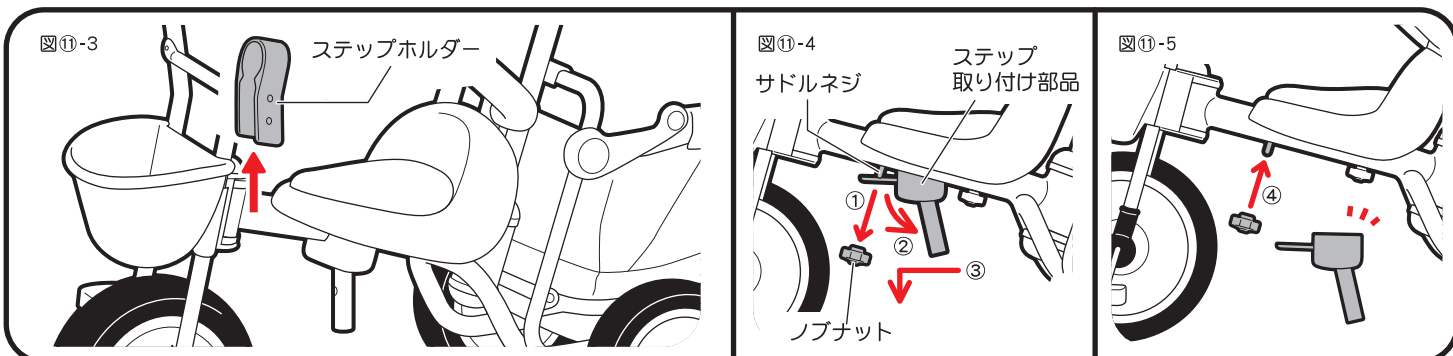
・コントロールバー取り付けネジをリアパイプから外してください。

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

・コントロールバー取り付けネジをⓐとⓑに分離し、ⓐはリアパイプの下に、ⓑはリアパイプの上に取り付けてください。

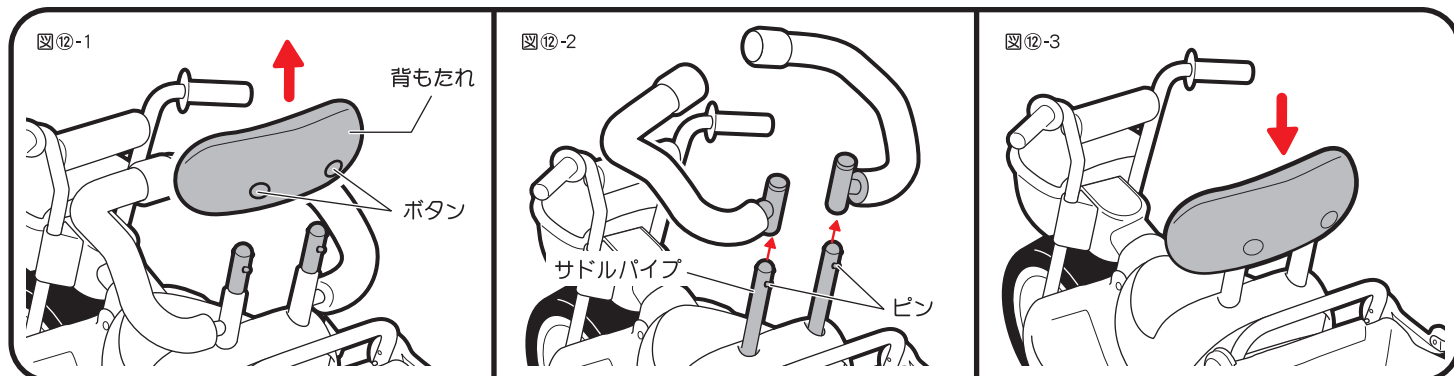
⚠警告	●コントロールバーを外した後は必ずⓐⓑ部品を取り付けてからご使用ください。ⓐⓑ部品を取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。
注意	●ⓐⓑ部品の取り付け、取り外しは保護者が行ってください。 ●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

⑪ ステップの取り外し方法

・ステップを固定している２カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。

・ステップを取り外します。

・ステップホルダーを取り外します。

・ステップ取り付け部品を外します。①サドルネジからノブナットを外します。②ステップ取り付け部品を傾けます。③前方へスライドさせ取り外します。④ノブナットを再度取り付けます。

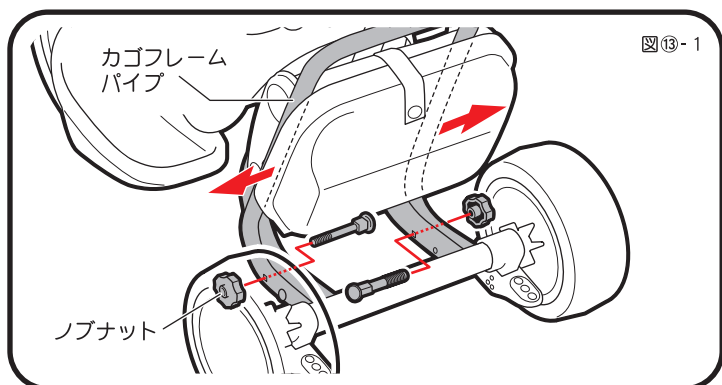
注意	●ステップの取り外しは保護者が行ってください。 ●ノブナットはしっかりと固定してください。 ●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

⑫ 安心ガードの取り外し方法

・ボタンを2つ同時に押しながら背もたれを上に引き抜いてください。

・ガードを開いた状態で、サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。

・背もたれを再度取り付けてください（背もたれの取り付け方法は5ページの図⑤-14､15を参照してください）。

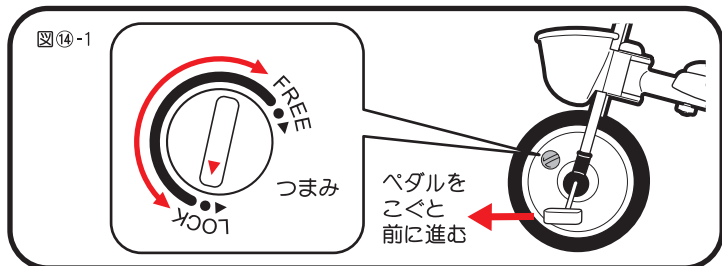
注 意　●背もたれを外したまま使用しないでください。

⑬ カゴの取り外し方法

・カゴを折りたたみます（P7 カゴの閉じ方参照）。
・フックを外します（P6 フックの取り付け参照）。
・ノブナットを外し、ネジを抜きます。
・カゴフレームパイプを矢印の方向へ広げて取り外します（P5 カゴの取り付け参照）。

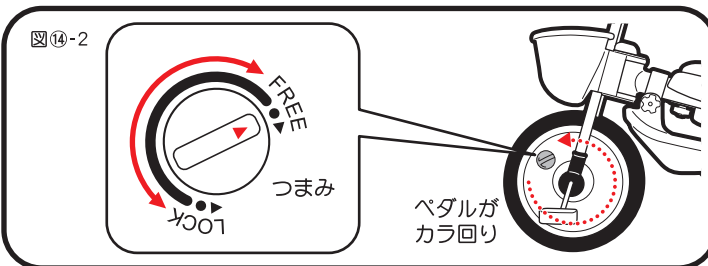
⚠警告　●カゴの取り外しは保護者が行ってください。

注 意　●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。

⑭ ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

・お子様がペダルをこいで、使用する場合は、『つまみ』の▲印をLOCK（ロック）に合わせてください。

（つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。）

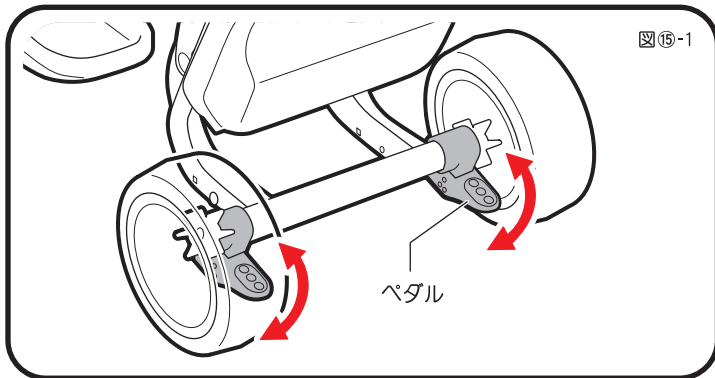
●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE（フリー）に合わせてください。

（つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者の方がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。）

必ず確認してください。　ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

⚠警告
●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意
●『ロック＆フリー』の切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

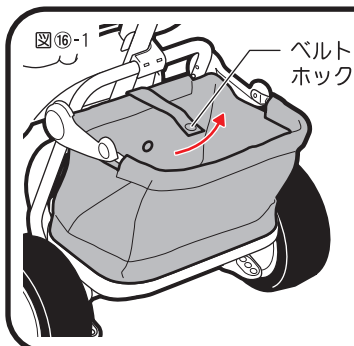
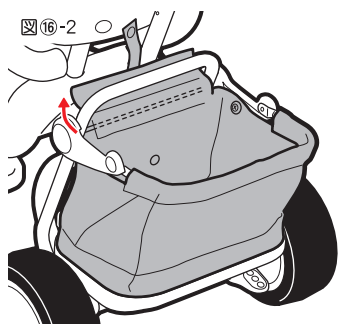
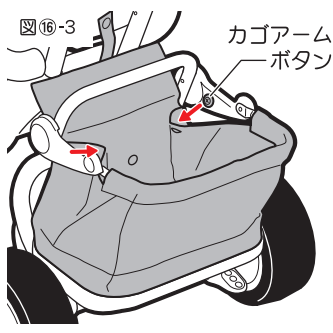
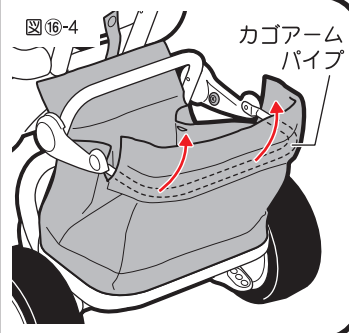
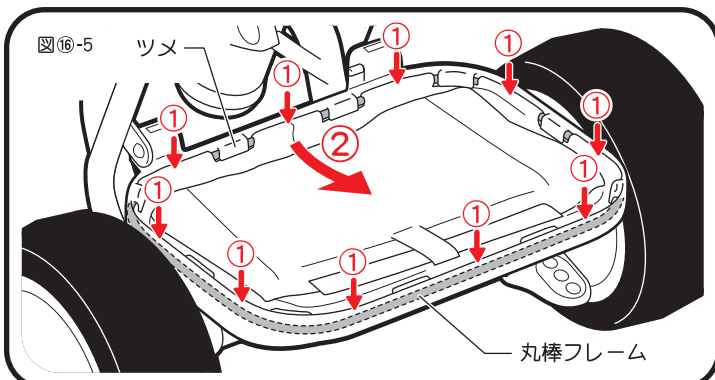
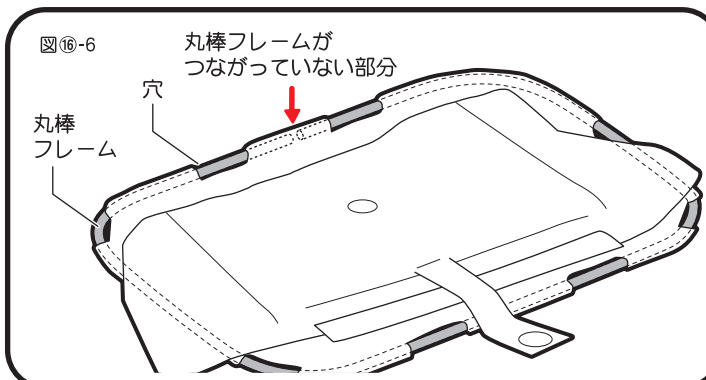
⑮ ブレーキの取り扱い

・ブレーキをかけたいときは左右のペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のペダルを上げてください。

⚠警告

●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せた時はブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

注 意

●ブレーキの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

⑯ カゴ布部分の取り外し方法

・ベルトホックを外します。

・カゴ前のマジックテープをはがします。

・カゴアームボタンをはずします。

・カゴアームパイプからマジックテープをはがします。

・矢印①を押してカゴ底のツメから丸棒フレームを外します。矢印②でカゴ底から布部分を取り外します。

・丸棒フレームがつながっていない部分があります。その先端を穴から出し、丸棒フレームを抜いてください。

注 意

●カゴ布部分は洗うことができます。洗濯の際は右の項目を参照してください。
●カゴ布部分を洗濯後、取り付けるときは【⑯カゴ布部分取り外し方法】の逆の手順で取り付けることができます。
●カゴ布部分をカゴ底から無理に外すとカゴ底のツメが破損する恐れがあります。
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また長時間の付け置きもしないでください。

●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押し付けて水気を取り除いてください。

●水気を取り除いた後、型を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

●漂白剤や入浴剤などの入った水は使用しないでください。

●アイロンがけはしないでください。

●ドライクリーニングはしないでください。